

安禪不必須山水滅
却心頭火自涼

雨宮春聲先生書

安禪不必須山水、滅却心頭火自涼（杜荀鶴）

坐禪はどこでもでき、無念夢想の境地に到れば、熱い火すら、涼しく感じられる。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

齊紫敗素（戦国策）

齊紫敗素

わざわざ転じて福となし、敗を転じて功となすたとえ。

江碧鳥愈白山青花欲燃
今春看又過何日是歸年

（杜甫）

江碧にして鳥愈よ白く山青く花燃えんと欲す
今春看又過ぐ何の日か是れ歸年ぞ

春宮

（杜荀鶴）

春宮 杜荀鶴

早被嬋娟誤 欲粧臨鏡慵

早に嬋娟たるに誤らる 粧わんと欲して 鏡に臨んで慵し

承恩不在貌 教妾若爲容

恩を承くるは 貌に在らず 妾をして若為に容らしめん

風暖鳥聲碎 日高花影重

風暖かくして 鳥声碎け 日高くして 花影重なる

年年越溪女 相憶採芙蓉

年年 越溪の女 相憶う 芙蓉を採みしを

わが門のあふちの花の咲きそめて 散るまで晴れぬ 五月雨の空

（加藤 枝直）

半紙部規定課題A

5月25日正午必着

繫舟 垂羅待

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月25日正午必着

行書

垂蘿待
繫舟

隸書

垂蘿待
繫舟

明石春浦先生書

毛蕒待
繫舟

垂蘿待
繫舟

草書

行草書

回れる塘つたには、越この地の水が分れて流れており、年古としふるりた樹々には、呉ごの地の煙けむりがいつぱいにむらがる
竹たけは地を掃はらうかのように揺れて、席しきを敷しくように催促するし（池塘いけぢやうのほとりには）蘿たが垂たれ下り、船ふねをつなぐのを待まちっているかのよう

鳥とりははじけたばかりの栗くりの実をのぞきこみ、亀かめはななかば傾かたむいている蓮れんの葉はの上うへにあがる
帰かへることを忘れてしまうこの庭園ていゑんをしばしば訪まねるたびに、俗事ぞくじに束縛そくわくされているこの身を思い、深こほいためいきをつ

秋日過しゅうじつ 徐氏園林じょしえんりん 包估ほうこ

回塘分越水かいぢやうぶんこつすい

古樹積呉煙こじゆつごえん

掃竹催鋪席そうちくさいふしき

垂蘿待繫船すいらくたいけんせん

鳥窺新罇栗とりうかがしんつなくり

龜上半敬蓮かめのうへはんけいれん

屢入忘歸地るいりつぼうきじ

長嗟俗事牽ちやうさぞくじけん

秋日しゅうじつ 徐氏じょしが園林えんりんに過よる

包估ほうこ

回塘かいぢやう 越水こつすいを分わかち

古樹こじゆ 呉煙ごえんを積つむ

掃竹そうちく 席しきを鋪しかんことを催うながし

垂蘿すいらく 船ふねを繫つなぐんことを待まちつ

鳥とりは窺うかがう新あたらしに罇つなけし栗くり

龜かめは上のほる 半なかば敬そだつ蓮ぼん

屢しばしばく帰かへることを忘わすれる地ちに入り

長ながく嗟さす 俗事ぞくじに牽けんがるること

（出典）
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

条幅部半紙部臨書課題





へん
編

せい
成

中学一年

雨宮春聲先生書



じゅく
熟

たつ
達

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

ちょう
朝

れい
礼

小学五年



横川春川先生書

どっ
独

ほ
歩

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月25日正午必着



おん

せい

小学三年

藤田幸春先生書



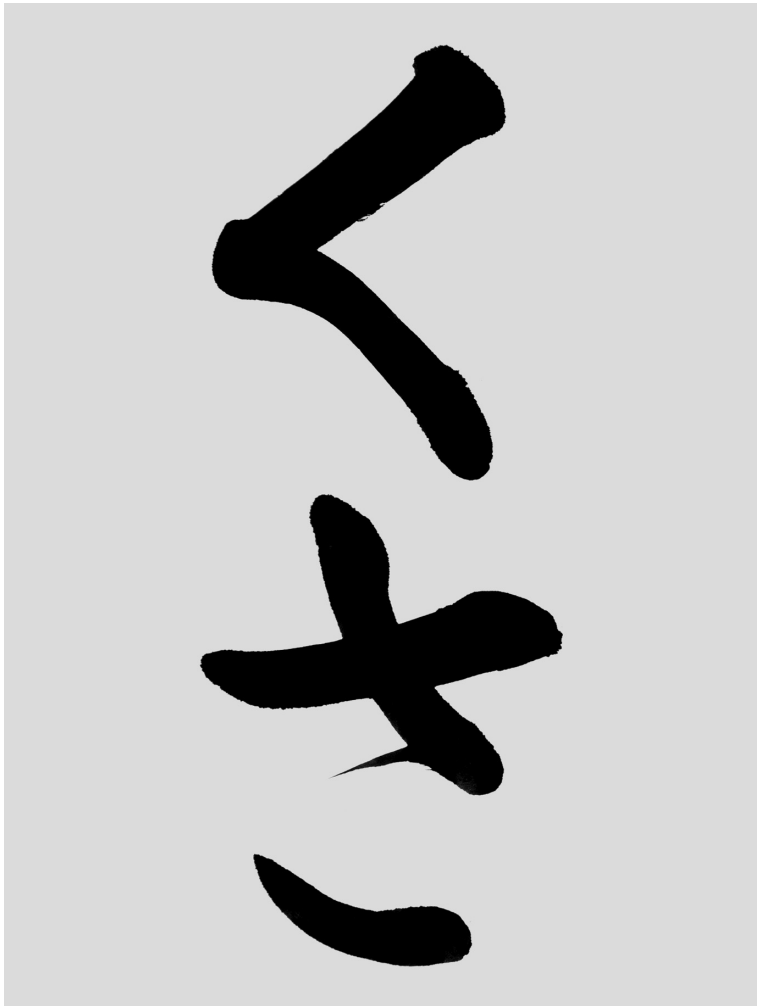
でん

き

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

く さ 小学一年・幼年



森戸春濤書

白 い 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

のたねが芽を出した	花だんにまいた朝顔
-----------	-----------

小学五年

をたてて走って行く	象の大群が地ひびきを
-----------	------------

小学六年

中で深呼吸をする	澄み切った空気の
----------	----------

中学

もみぢなよき友である	山の花も水に戯れる鳥
------------	------------

一般(級位)

春過ぎて夏来るらし 白妙のところでんぐさ 採る人のみゆ	はる過ぎて夏来るらし 白妙の ところんぐさ採る人のみゆ
-----------------------------------	-----------------------------------

春過ぎて夏来るらし 白妙のところでんぐさ採る人のみゆ (北原白秋)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

い	や
	ね
こ	よ
い	り
の	
ぼ	た
り	か

幼年

ふ	大
つ	つ
て	ぶ
き	の
ま	あ
し	め
た	か

小学一年

よ	く
い	も
天	一
気	つ
で	な
し	い
た	

小学二年

え	テ
合	ス
わ	ト
せ	の
を	後
す	
る	答

小学三年

べ	毎
て	日
グ	の
ラ	水
フ	温
に	を
か	し
く	ら

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ちの〜
 月やどるべき
 ひまもなく
 いけにはちすの
 花咲きにけり
 可
 遍
 万
 那
 介
 爾
 遅
 支
 二
 介
 (西行法師)

松永翠舟先生書